

JOHA 編集委員会主催 実践ワークショップ
「良い論文」を書く

1. ねらい

* 新型コロナ感染拡大の影響で低迷しがちな学会活動、研究活動の活性化。

2. 趣旨

* 学会活動の活性化→質の高い学会誌→完成度の高い論文の掲載

* 投稿された論文に共通する課題＝論文の基本が弱い

- －問いが立っていない
- －先行研究が十分に提示されていない
- －語りと解釈が噛み合っていない
- －語りを貼りつけただけになっている

* 未公刊の論文（たとえば、すでに投稿したが査読は通らなかったもの）を題材として提供してもらい、参加者全員で検討する。自分の書いた文章ではなくても、それを詳細に検討することで論文を批判する視点を身につけ、自分の論文に還元してほしい。

* JOHA ならではの！ 語りの扱いに重点を置いて「良い論文」の書き方を学ぶ。

* 題材提供者への特典＝『日本オーラル・ヒストリー研究』次号に原則掲載（公開査読）

3. 参加者について

* 会員限定。参加者 10 名＋編集委員会 5 名＝15 名。オーディエンスなし。Zoom で開催。

* 題材提供者 2～3 名。

- －若手会員限定（大学院生・PD を優先。ここでの「若手」は実年齢とは関係ありません）。応募多数の場合は編集委員会で選考。
- －投稿できる程度に仕上がっている原稿を 10 月末に提出できる人（JOHA の執筆要領に従い、文献リスト・注を含む。未完成原稿は検討できません）。
- －題材提供者になれなかった人には検討者として参加してもらう。

* 検討者 7～8 名

- －大学院生や話題提供者になれなかった会員を優先する。大学院生から定員以上の申し込みがあった場合は抽選。

4. 日程と各回のおもな内容

【第 1 回】2020 年 11 月 8 日（日） 13:00～16:00 くらい

- ・ 査読者の目線から見た「良い文章」「困った文章」「惜しい文章」
- ・ 論文に関するあれこれについてトーク→悩み・課題の炙り出し
- ・ 題材提供者は第 1 回の内容を踏まえて期日までに原稿を修正。

【第2回】2020年12月

- ・題材の検討。
- ・題材提供者は第2回の内容を踏まえて期日までに原稿を修正。

【第3回】2020年2月

- ・修正原稿の検討。
- ・ふりかえり。

※第2・3回の日程は参加者の間で調整します。

5. 申し込み方法

【期限】

10月17日（土）

【申し込み・問い合わせ】

下記宛てにメールを送ってください。

joha_journal@ml.rikkyo.ac.jp

【必要事項】

以下の項目についてお知らせください。1)～4)は申込者全員、メールの本文に記入してください。5) 6)は題材提供希望者のみ、こちらは添付ファイルでお送りください。

- 1) 氏名と所属（大学院生は学年も）
- 2) 参加希望枠 ※題材提供者／検討者
- 3) 専攻 ※歴史学・社会学・人類学等
- 4) 研究テーマ
- 5) 応募の動機・論文の概要（1000字程度。MS Wordで作成）
- 6) 現段階での原稿